



ローソンプリント、AIイラストのブロ  
マイド発売→1日もたたず販売停止に  
理由は「制作者と協議の結果」

22161241山口翔矢

# 概要

- ローソンは10月1日、プリントサービス「ローソンプリント」で販売していたイラストレーター・おしつじさんのオリジナルブロマイドを販売終了にした。このブロマイドは同日に発売したばかりのもので、イラスト作成に画像生成AIを使っていると公表していた。販売終了の理由についてローソンは「本人と協議の結果」とし、再開の予定はないと説明している。



# 経緯

- 発売直後、ローソンはこの作品を公式Xで紹介。おしつじさんもこれに返信する形で「今回の制作もAI利用OKで、かつすでに私以外にもAI作品を公開されている方がいるということで公開している」と説明していた。
- しかし、ローソンの公式Xの投稿に対して「ローソンの的にはAI生成画像を出力してる人もイラストレーター一枠なのか」などの声や、ローソンの投稿には生成AIを利用しているとの説明がなかったことから「生成AIを使っていることを表記しないのか」などの返信が見られていた。

- 。おしつじさんは9月、出版社の仏chattochattoとコラボレーションし、画像生成AIを使って作成したイラストを提供。同社はイメージキャラクターとしてこれを起用していた。その際、事前に「イラスト作成にAIを利用している」と出版社側に話を通していたが、イラストを見たユーザーからは苦情が殺到。こちらのイラストも取り下げられていた。



# コメント

- 法的なハードルをクリアしても界隈的なハードルをクリアするとは限らない
- 今後デジタルコンテンツは、二次元だけでなく、人の写真や映像もAIの加工が入ったものが主流になっていくと思う。昔は手書きで絵を描いていたけど、今はPCでソフトを使って描いていたりする、そのツールのひとつがAIであるだけなのでは、という気がする。

# 感想

- AIに描かせているのであればイラストレーターと呼べるのか疑問に感じた。
- 満足のいくクオリティーの絵であればAIが描いていてもいいのではないかと感じた。